



ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2017~2018年
週報第41号
(通算2073号)
例会：平成30年5月23日

会長挨拶 辻村 栄藏



5月23日 ロータリー活動6分野 疾病との闘い

- ① 平和の推進 ② 母子の健康 ③ 水と衛生 ④ 疾病との闘い ⑤ 教育支援 ⑥ 地域経済の発展

誰にとっても「健康であること」は何より大切。世界で数百万人が病気によって苦しみ 貧困を強いられています。ロータリーが疾病の予防と治療に力を注ぐのはこのためです。



① マラリア

治療と予防を通じてマラリアのない世界を目指しています。



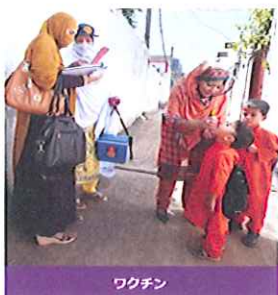
② アルツハイマー

ロータリー会員は、アルツハイマー病と認知症との闘いで蓄積された経験を基に、病気への理解の向上、患者・家族への支援に当たっています。



③ ワクチン

定住地のない子どもたちへワクチンを投与するため、パキスタンで懸命な取り組みが行われています。

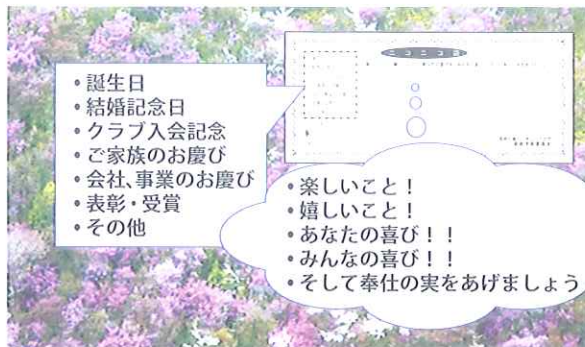


④ ポリオ撲滅活動

パキスタンではワクチン、予防接種データを含む母子健康報告書を、従来の紙の報告書から、迅速かつ正確な携帯電話のテキストメッセージを活用している。



ニコニコ袋のご協力願い



- ・誕生日
- ・結婚記念日
- ・クラブ入会記念
- ・ご家族のお慶び
- ・会社、事業のお慶び
- ・表彰・受賞
- ・その他

・楽しいこと！
・嬉しいこと！
・あなたの喜び！！
・みんなの喜び！！
・そして奉仕の実をあげましょう

5月23日(赤口)

・今日の誕生花は「チューリップ」

花言葉は「永遠の愛」

「愛の告白」



【幹事報告】



幹事 濱本 義文

- 例会変更 長崎東RC 6/8(金) 賀寿例会 18時～ 料亭一力
長崎北RC 6/11(月) 賀寿例会 18時～ 料亭 橋本
- 5/27(日) クラブ米山記念奨学委員長セミナー 13時～ 東彼杵町総合会館 久保田会長エレクト 出席予定
- 6/7(木) 会長幹事会 今年度と次年度の会長・幹事出席 19時～ ANAクラウンプラザ長崎グラバーヒル
- 6/6(水) 各理事・役員引継ぎです。準備をお願いします。致します。



- 5月30日(水) 卓話・長崎県通訳案内士協会 会長 土井 正隆様
- 6月6日(水) 各理事・役員引継ぎ
- 6月13日(水) クラブ協議会 1回目

ニコニコBOX

- 辻村：孫 小学1年生、5年生 運動会 楽しかったです。
- 浜本：地区研修、協議会報告 宜しくお願い致します。上田さん、コーヒーご馳走様でした～。
- 大坪：梅雨に入りそうです。体調に注意していきたいです。
- 田中(徳)：本日、地区大会の発表させて頂きます。
- 南里：先日は、歓迎会を開催していただきありがとうございました。これから、どうぞよろしくお願い致します。
- 丸木：辻村会長他関係者の皆様、本日の卓話、地区研修協議会報告よろしくお願いします。



ニコニコ発表 鬼塚会友

小計：6名/¥10,000 累計：466名/¥1061,000



久保田 和典会長エレクト・田中 徳之幹事エレクト
上田 純一クラブ管理運営部門理事
森 義彦奉仕プロジェクト部門理事

久保田会長エレクト

去る4月15日 日曜日に、ホテルオークラJRハウステンボスホテルにて、2018~2019年度 国際ロータリー第2740地区、地区研修・協議会が開催され、私と森さん、上田さんと次期幹事の田中さんと行ってまいりました。当初は懇親会もあるので、JRで行きましようかとの話でしたが、上田さんより、「JRなんかでいかなぞー！！」と神の声が下りてきて、(まーわがまな一言だったんですが)、田中次期幹事が、不満も言うことも無く、(まー本心は判りませんが?)快く車を叫び出していただき、皆さんを乗せて会場に向かった次第です。会は14時より始まり、ガバナーエレクト及びガバナーの挨拶及び来期のR1テーマ「インスピレーションになろう」から始まり国際ロータリーの運営方針、次年度地区の運営方針についてのお話がありました。内容は先日のPET発表でいたした内容と同じですので、本日は割愛させていただきます。その後 研修会が始まりましたので、これより各委員会の事業計画を担当理事より発表して頂きます。

1、クラブ管理運営委員会を上田さんより発表をお願いいたします。

【地区委員会事業計画】

クラブ管理運営委員会	委員長 竹田 健介
クラブ活性化のために、各クラブに以下のことを要望し、当委員会もそれをフォローすべく活動の指針とします	
1 工夫をこらした例会をすること。	
2 クラブの目標、計画、プロジェクトを明確にする。	
明確な目標	活動計画
会員のモチベーションを喚起	
3 会員同士が互いに知り合い、親睦を深められる環境を作る。	
4 会員向けサイト「My Rotary」からいろいろな情報を活用できることを知る。	
5 クラブリーダーシップ・プラン(CLP)を参考に。	
6 ロータリーの目的を忘れずに。	
7 国際ロータリーの規則で、クラブ定款・クラブ細則は作成することが義務付けられているので、必ず作成して下さい。	

2、公共イメージ委員会を田中(徳)さんより発表をお願いいたします。

【地区委員会事業計画】

公共イメージ委員会	委員長 久保 泰正
1 各クラブのプロジェクトやイベント、または基金活動を地元メディアに報道してもらうことを目指す。	
ロータリーショーケースまたはロータリークラブセントラルで報告する。	
2 各クラブは、「My Rotary」への会員登録率が50%以上に引き上げ、ロータリーの最新情報が掲載された「My Rotary」の活用を目指す。	
3 各クラブは、「Rotary Club Central」への入力を定期的に更新し、会員のクラブ活動への参加意欲を高めることを目指す。	
* 以上3つの活動目標を進める上で、各クラブを定期的に訪問されるガバナー様は重要な役割を担います。	
また、下記の3点は、特に重要です。	
4 各クラブは、会員全員が「My Rotary」から生年月日を入力することを目指す。	
5 各クラブは、成功させたプロジェクトの情報を「活動の詳細・ボランティア活動に費やした時間・募金額など」を「ロータリーショーケース」に投稿することを目指す。	
6 各クラブは、ロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を紹介することを目指す。(メディア関係者との懇談会など)	

3、奉仕プロジェクト委員会を森さんより発表をお願いいたします。

【地区委員会事業計画】

奉仕プロジェクト委員会	委員長 小川 信
奉仕プロジェクトの役割は、地域社会の重要なニーズに応える奉仕活動の実施を助けることです。	
限りある資金と会員の知識や経験を活かし、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを企画・実行し、実行スケジュールを立て、成果を具体的に図るための基準を定め、計画と実施がクラブに合った方法で奉仕プロジェクトを実施して下さい。	
この委員会の役割は、クラブの奉仕活動を主導し、地元や海外の地域社会の人々を援助する教育的、慈善的プロジェクトの計画と実施を支援することです	
具体的に活動する委員会としては、「社会奉仕」「国際奉仕」「職業奉仕」「新世代奉仕」「ロータリーアクト」「インターアクト」「インターアクト」「青少年交換」「ライラ」等があります。	

4、ロータリー財団委員会を久保田が発表いたします。

【地区委員会事業計画】

ロータリー財団委員会	委員長 西川 教文
2018~19年度国際ロータリー会長バリー・ラシは、ロータリークラブ対象のロータリー員としてクラブが達成する項目、特に人道的奉仕の重点化と増加のためとして、	
・年次基金への会員一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとする。	
・奉仕プロジェクトに参与する会員数を増やす。	
・ロータリーのポリオ撲滅活動への資金または認捐向上を目的とした行事を開く。	
・ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施すると、述べています。	
毎年、地区目標年間一人当たり年次寄付を150ドルとお願いし、皆様からの寄付は、地区奉仕金活動として、地域や世界で良いことをとの目的で、クラブが行う身近な社会奉仕事業に役立てています。クラブ事業として現在行っている事業も財団への申請が可能ですので、多くのクラブから申請を委員会でお待ちしております。	
グローバル補助金は世界的人道支援や大学院への留学費用等の規模が大きい支援事業に活用されており、今年度もモンゴルでの野鳥対策支援やタイでの水と衛生支援事業等に申請を予定しています。	
ポリオ撲滅運動は、1988年122か国、20億人以上の子どもの速さをポリオから守るために約1,300億以上の資金と無数のボランティアの捧げた努力によって99%撲滅し、残り僅かになっています。	
最後の1%解消のため、皆様のご協力を得て励めてまいります。	

5、インターアクト委員会を田中(徳)さんより発表をお願いいたします。

【地区委員会事業計画】

インターアクト委員会	委員長 徳川 清隆
青少年部門4委員会(インターアクト、ロータリーアクト、RYLA、国際青少年交換)のそれぞれが、連携できるような機会を検討します。2016年度よりインターアクトとロータリーアクトとの連携した事業が始まり、交流を深めながら青少年の未来像を見出しています。RYLA事業での、世代間を超えた青少年間交流、ロータリーの方々との交流は青少年リーダーシップの育成へと導かれています。国際青少年交換生徒と交流し、国際理解、親善、平和に推進できるような世界観の醸成につなげます。	
青少年危機管理への理解に努め活動を行います。	
1 地区インターアクト年次大会 7月28日(土) ホスト校 牛津高等学校(提唱 牛津RC) 於 佐賀マリピア	
2 指導者研修会(前期10月、後期1月)	
3 第7回全国インターアクト研究会 2019年4月28日(日) 於 福岡国際会議場 主催 九州4地区インターアクト合同 第(2700・2720・2730・2740)地区	

6、最後に国際青少年交換委員会を田中(徳)さんより発表をお願いいたします。

【地区委員会事業計画】

国際青少年交換委員会	委員長 下津 清 正明
次年度国際青少年交換委員会は、昨年、本年度とインバウンド学生4名、アウトバウンド学生4名という学生数に留まっています。2016年度までは7名から10名程の学生数でしたが近年減少しております。	
次年度は、目標として2740地区10グループに各1名のインバウンド学生を迎え入れるようなマルチ受入体制を各グループに奨励、啓蒙活動を進めたいと計画しています。	
マルチによる受入は、少人数のRCや予算の準備が十分でないクラブなどに、このYEPを経験していただくよい機会であると確信しています。	
次年度はRIJYECへの基金支出の終了と、交換留学生の人数が減少した為に当委員会の予算は減額されておりますが、当地区においても、新たな青少年奉仕全体での2740地区青少年FESTA等を企画して委員会の財源としたいと考えております。	
尚、毎月のオリエンテーションの運営内容も大幅に変更します。	
YEP委員長は単年度で職務を離任できないような運営のやり方に変更して委員が共通の認識をもてるように偏った負担を避ける運営を計画しています。	

その後 次年度地区幹事及び会計より次年度の地区運営について、と次年度の地区予算案の説明があり承認されました。内容も先日のPET発表の中でお知らせいたしておりますので、こども割愛させていただきます。その後点鐘となり、休憩をはさんだ後、懇親会にうつりました。食事の内容は美味しかったかまじかまじか全く覚えていませんが、悪いイメージはなかったので多分美味しかったのでしょうか？
そしていつもの手に手つないで合唱し18時半頃に終了し、田中次期幹事のお車で、長崎まで送って頂きました。上田さん、森さんそして送迎もして頂きました田中さん お疲れ様でした。
以上、地区研修・協議会の発表を終わらせて頂きます。

司 会 / 田中徳之
写真撮影 / 高木 潤

創 立 / 昭和49年4月30日
承 認 / 昭和49年5月22日
例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 / 長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局 / 長崎市目覚町8-11-301
TEL 843-6635 / FAX 845-9411
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up 免除者	修正出席率	出席率
5月9日	39	27	10	4	83.8	
5月23日	39	27	9	3		75

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
本年度	79.9	84.9	80.3	78.6	82.5	73.8	78	79.5	77.9			
前年度	81.7	85.4	86.1	79.6	75.3	85.7	78.5	83.2	81.3	86.4	77.9	